

知事と区市町村長との意見交換会(青梅市)

令和2年10月6日(火)

14時50分～15時10分

○**行政部長** それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いいたします。

○**知事** 浜中市長、今日は御苦勞様でございます。よろしくお願ひいたします。コロナウイルスとの戦いということで長期戦を余儀なくされておりますが、世界見回してみましてもそれぞれ各地域、各国において取組が行われ、そして試行錯誤も続いているわけでございます。

そういう中であつて市長におかれましても、コロナ対策をはじめとする市政運営で御努力されておりますこと、まづもつて敬意を表したいと思ひます。御苦勞様でございます。

そしてこのコロナウイルスとの対策であります、ウィズコロナ、つまり感染拡大の防止とそれから社会経済活動を両立させていくという、そういう中において、こういう難局においてでありますけれども、都政も構造改革を梃子にして新しい日常、そしてサステナブル・リカバリーという観点で、現在長期戦略も描いているところであります。

今日はこういうリモートでのやり取りになりますけれども、今、市において様々な課題も抱えておられるかと思ひます。また、長期戦略の中において、こういったことを成し遂げていきたい、オール東京で進めていくものでございますので、これらのことを連携してやっていきたいと考えております。

ということで、今日は市長からオンラインでありますけれども青梅市としての御意見、御要望をお伺ひできればと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○**青梅市長** お願ひいたします。

○**行政部長** それでは浜中市長、御発言をお願ひいたします。

○**青梅市長** 知事におかれましては毎日忙しい日程をこなされて大変だなというのは、よくニュースで見て感じているところでありますけれども、知事がおっしゃったとおり、今コロナ対策で青梅市も大変な状況になっております。

今回3点ほどお願ひをしたいということで、コロナ関係2件で、あと一つは青梅インター周辺の問題であります。最初に西多摩保健所の体制強化と、新型コロナウイルス感染症対策についてであります。

青梅市内では特別養護老人ホームが24施設、2,554床であり、多数立地して、西多摩地域全体では6,900床もあり、その他養護老人ホーム等も複数あります。西多摩地域の特別養護老人ホームの対被保険者整備率は6%を超え、都の平均の1.6%を大きく上回っている状況であります。これは西多摩地域や八王子市等の多摩西部地域が、区部等の要介護者の受け皿として、必要数を超える施設が立地したのものによると捉えております。

また、医療面でも都心部からの流入が多い慢性期療養の病床等が人口比率からは超過し

た施設が立地しており、西多摩地区の高齢者施設の集中は世界一ではないかという声も聞かれております。

これまで新型コロナウイルス感染症の大規模なクラスターは、施設の皆さんの努力により抑えられておりますが、多摩地域における市中感染が減少しない中、多くの施設職員は多摩西部内の在住であり、大きなリスクを抱えて生活をしております。

施設内でクラスターが発生した場合、近隣に都立病院もなく、感染症の対応力は非常に厳しいものがあります。また、市中感染の積極的疫学調査等の対応で、都市部の保健所への応援に力が割かれている中、西多摩保健所の増員はほとんど行われていないと聞いております。

多くの施設に対し、予防措置的な指導や、施設職員間の応援協力体制等を構築するには、西多摩市町村だけでは対応できるものではないと考えております。10月から施設職員等への検査実施には大変感謝しているところでありますが、逆に職員の無症状、無自覚感染者が一定程度発生することを考慮すると、地域の介護、医療提供体制の維持や継続には、都の積極的な支援が欠かせないため、西多摩保健所の体制強化と、西多摩市町村との連携を強く要望するところであります。これが一点目であります。

次に二点目として、今青梅市には総合病院がございますけれども、総合病院の財政的な支援をお願いしたいという要望でございます。

青梅市立総合病院は、西多摩構想区域における高度急性期機能の病床を全て担っております。また、西多摩地域における都立病院の補完的な役割を果たしております。資料青梅市立総合病院の収益の状況を御覧いただきたいと思っております。この資料は令和元年度と令和2年度の収益の状況を示しております。

資料のとおり、令和2年度はこのような新型コロナウイルス感染症の影響により、年間で14億円以上の減収を見込んでいるところであります。なお、本データは総合病院でのクラスターの発生前の状況で推移しているため、9月は更に厳しい状況であります。2病棟でクラスターが発生したことにより、病棟を閉鎖するに当たり、病院は更に厳しい経営環境に置かれております。

先般、三多摩島しょ公立病院運営協議会として、要望させていただきました。結果、感染症対策に係る直接的な支援は充実しつつあるが、減収を補うまでには至ってないところであります。病院の大幅な減収要因は、患者の新型コロナウイルスの感染リスク回避と、感染症患者の受け入れを行っていることも影響しているものと考えております。

つきましては、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助だけでなく、西多摩地域を含め、住民の命を守るためにも、減収補填に係る財政支援をお願いしたいと思っております。

また、一般会計においても総合病院における新型コロナウイルス感染症医療に要する経費について、負担することとしており、総合病院に繰り出す予定としていることから、市町村総合交付金の財政支援を併せてお願いしたいところであります。

三点目としては、インター周辺の問題であります。青梅インターチェンジへのアクセス

道路の整備及び雨水排水の整備、管理についてであります。資料、長岡一号幹線案内図を御覧ください。

圏央道青梅インターチェンジ北側の物流拠点整備とともに、本市と瑞穂町との境に当たる東端地区を雇用が生まれる産業機能の誘導により、産業拠点として整備を進めることとしています。

このため、青梅インターチェンジへのアクセス道路として、本市と瑞穂町を通過する都市計画道路3・4・13号線の整備の推進をお願いいたします。そしてこの道路の雨水排水を担う、現在計画されている瑞穂町狭山池周辺の残堀川を起点とする長岡一号雨水幹線について、都の整備、管理を要望いたします。

続きまして資料、長岡一号幹線概算事業費について御覧ください。この雨水幹線につきましては、都において整備が困難である場合は、自治体単独で整備を進めるには、資料のとおり多額の事業負担を要することから、財政的支援をお願いするものであります。

なお、圏央道青梅インターチェンジ北側地区における物流拠点の整備を促進するため、都市計画と農林漁業に関する土地利用調整を、東京都と国により確実に進めていただきたいこともお願いいたします。

以上3点が今回東京都にお願いさせていただく項目であります。よろしく御支援いただきますよう、お願い申し上げます。ありがとうございました。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いいたします。

○知事 それでは私の方から2点、あと副知事の方からもお伝えをさせていただきます。

まず保健所への職員等の課題でありますけれども、新型コロナウイルス感染症の対策というのは、今お話がありましたように、保健所が大変重要な役割を担っていることは言うまでもありません。

その一方で、非常に感染者が多く出ている、また濃厚接触者の追跡調査等々、様々な課題でもって、保健所の負荷も増大をしているという状況であります。

そういうことから多摩府中（※西多摩）の保健所との直轄でもあり、保健所内の応援体制を構築しているところであります。保健師さん、看護師さん等の会計年度任用職員を採用したり、また人材派遣の職員を活用したりしております。また、局を超えて職員の派遣を行っておりまして、西多摩保健所を含めた都保健所の体制強化を行っているところであります。

それから都の保健所が行っておりますPCRの検査の一部委託を進めることによって、あと様々な、業務をデジタル化するアプリ等も開発と言いましょうか、またLINE等を使って、この保健所の日々の負担を軽減し、かつ情報の共有と言いましょうか、情報の伝達等を迅速にしているところであります。それから保健所は管内の市町村との連絡等、連絡会を適宜、催していて、市町村からの要請に対しては対策会議で拝聴をしているということです。

それからお話ありましたように、青梅の高齢化率が3割を超えているということから、また市長からもお話がありました、高齢者施設が青梅たくさんある。そういう点で、

西多摩保健医療圏での感染拡大の防止ということは、保健所と連絡、連携を密に取っていただくことで対応をより確実なものにしていきたいと考えています。

いろいろ動画を作成しております、施設の職員の皆さんにも、例えば居室への入り方とか、より具体的なことについて動画で分かるようなこともいたしております、是非これをそれぞれの施設の方で、改めて確認の意味でも行っていただくことによって、感染の拡大を少しでも軽減させていただければというふうに考えております。

それから今クラスターがまさに発生して、合計で63名というふうに伺っております。この公立病院は非常にコロナの影響をがっつり受けて、経営状況が厳しいということについては存じております。

また、複数回に渡って都の補正予算を組んで、今まさに9回目の補正予算を審議している最中でありまして、これらによって感染の患者さんを受け入れてもらっている医療機関に対する支援も実施をしております。

病床の確保料、それから設備の整備等の補助、入院患者を受け入れた医療機関に対しては経営基盤の包括的な支援等の臨時支援金をお渡ししていますが、引き続き医療機関を支援して参ります。

都はこの緊急対策で総額100億円の特別交付金を創設して、公立病院等の設置状況も踏まえた交付も行っております。今後も公立病院も含めて、市の財政状況も注視しながら、総合交付金等によって支援に努めて参りたいと考えております。

それから国の方にも、医療機関の実情を踏まえた支援策の拡充について、これまでも厚労省、そして西村担当大臣の方にも、通常診療を含めて医療提供体制が確実に維持されるようにと、申出も引き続き行っているところであります。

医療機関の皆さんの努力によって、第1波の時と比べて非常に重症者数や、ましてや死者が各段に抑えられているということは、医療現場の御努力の賜物だというふうに感じて、誰もがこの点感謝をしているだけに、医療機関が更に感染の拡大防止に努めていただけるような環境づくりというのは、極めて重要なことだというふうに考えております。

そして全く話は変わりますが、御要望の最後にありました、道路関係の件であります。こちらは圏央道のインターチェンジ付近での物流拠点についての整備であります。東京や首都圏における物資の流通を支える上では、地勢的にも極めて重要という認識を持っております。

その整備でありますけれども、地元の方々による区画整理事業に合わせて行う市街化区域への編入であるとか、農業振興地域の見直しについては、市の方と十分連携を取ってしっかり支援をしていきたいと考えております。

また、その後の農業振興についても、青梅市とともに取り組んでいきたいと考えている、その旨をこのオンラインでの意見交換の場でお伝えをしていきたいと思っております。私の方から以上で、この後、多羅尾副知事から続けてお伝えいたします。

○副知事 それではただ今知事からも道路整備のお話ございましたけれども、補足的に御説明させていただきたいと思っております。

お話の都市計画道路3、4、13号線、岩蔵街道から青梅街道を結ぶ、新設の1キロメートルの道路でございますけれども、お話のとおり、青梅インターチェンジへのアクセス道路として交通の円滑化というのはもちろんのこと、多摩地域全体の自治性向上とか、都市間連携を図るうえでも大変重要な役割を持つ道路と認識しております。整備に向けまして、早期の事業化に向けまして、しっかり取り組んで参りたいと思っております。

併せて、当該道路の雨水排除のための下水道管渠についてでございます。下水道管渠につきましては、原則的には市町村が整備することにはなっておりますけれども、お話の長岡一号雨水幹線の整備管理の在り方につきましては、青梅市さんの公共下水道の計画の検討状況全体の中で、必要に応じて調整をさせていただきたいというように思っております。

また、御要望の財政支援につきましても、都は市町村が行う下水道事業に対しまして、国の交付金、原則二分の一ということでございますが、それと併せて都の補助による支援も行っております。

今後も交付金それから補助金の確保に努めまして、下水道整備に係る市町村の財政負担の軽減に努めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○行政部長 それでは今の発言を受けまして、浜中市長の方から何かございますでしょうか。

○青梅市長 ありがとうございます。今、病院でクラスターが発生しているということで、市内では大きな問題になっておりますし、市民も不安の中での状況が続いておりますので、その辺も勘案しながら、そして高齢者の施設も多いということで、そこも勘案していただきながら、少しでも安心して生活できるような状況を東京都にも認識していただき、ともにこの苦難を乗り越えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

また、インター周辺は常に連絡しあいながら、東京都と連携して進めておりますので、今後も連携を密にして進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

○行政部長 ありがとうございます。それでは最後に知事からお願いいたします。

○知事 御苦労様でございます。防ごう重症者、守ろう高齢者という言葉を大事に政策を進めております。やはり重症者をいかにして出さないか、もちろん亡くなる方をどうやって抑えるか、それからそのためにはリスクの高い高齢者をいかにして守っていくか。この点を特に重点を置きながら、都としてのコロナ対策、これからもしっかり行っていきたいと考えております。

そして今日の御意見等も踏まえながら、長期の戦略を描いていく、そのためにもオール東京、そしてまた都と青梅市とも意見交換や情報を密にしながら進めていきたいと考えておりますので、これからもどうぞ、ともに頑張ってください。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○行政部長 それでは以上で終了いたします。本日は御多用のところ、ありがとうございました。